



学校だより 水沢小学校

学校 HP QR コード



先日の大運動会、さわやかな風と太陽の光の中で子どもたちは輝き、グラウンドいっぱいに歓声が広がっていました。競技に向かう真剣な表情、想いのこもった応援、ともに喜ぶ笑顔。6年生をはじめリーダーの姿は頼もしく、また一段と成長したように見えました。たくさんの保護者地域の皆様からも熱い声援を頂戴し、本当にありがたく思いました。心より感謝申し上げます。

さて、話は変わりますが、水沢小学校の校庭には大きな石碑があります。碑文には「殉職久保田先生之碑」。先日の大運動会の日からちょうど82年前の昭和15年5月28日、水沢小学校では遠足がありました。碑の裏には次のような内容の説明があります。

清津方面への遠足中、休憩時に児童2名が溪流にかかる残雪アーチに涼を求めて中へ、その姿を見た久保田先生が危険を感じて助けに入ったそのとき、大きな音とともに固まった雪が崩れて3人が亡くなる。

(要約 文責：田村)

学校に残る記録に6月3日に水沢村民あげての葬儀が行われたとあり、悲しみの中、犠牲になった児童や久保田先生への哀悼が深く捧げられていることがわかります。複数の弔辞の一つに「二十有余名の職員と一千余名の児童にとって永遠に忘れ得ぬ悲しい日でありました。」とあり、各町内から寄せた芳名録にあるおびただしい数の記名と香典控からも、水沢村の歴史にも残る大きな出来事で、この小学校が本当に大切にされていたことが実感されます。

昨年水沢小学校に赴任する機会を得て、古い資料をデータに起こす作業に取り組んでおります。そのうち、この碑に関する当時の校長佐野松太郎先生が残された報告書一部を裏面に載せましたのでよろしければご覧ください。

(校長)



教科書展示会のお知らせ

小学校・中学校・高等学校で使われている教科書を展示します。どうぞ、ご覧ください。

- 1 展示期間 令和4年6月10日(金)～6月23日(木)
- 2 会場 十日町情報館
- 3 開館時間 平日、土曜日、日曜日、祭日 9:00～19:00
(閉館日 第4月曜日)

展示期間以降も、通年で書架展示をしています。

- 4 展示内容 小学校教科書 中学校教科書 高等学校教科書
- 5 問い合わせ先 十日町市教育センター(川西庁舎内) 【電話 025-756-5011】

昭和十五年五月廿八日

久保田雄松訓導殉職顛末書

新潟県中魚沼郡水澤村水澤尋常高等小学校

一、久保田訓導殉職の顛末

昭和十五年五月二十八日 全校児童の日帰り旅行を実施す。

此の日、天気晴朗にして絶好の旅行日和なり。一千有余の児童は嬉々として足並みも軽やかに午前八時、一斉に校門を出発せり。

久保田訓導他四名の職員に引率されし、尋五、六男女二百二十八名は目的地たる名勝清津峡入口へ向ふ。途中田澤村高道山小学校にて昼食をなし、同校職員の案内により通称「瀬戸の景」に達す。時に午後一時十五分、ここにて絶景を愛で休憩を命ず。児童は分與せられたるキャラメルに喜びつつ美しき山川の景に見惚れ、疲れも忘れたるものの如くなりき。此の時、休憩場を去る約百米後方、県道山際の石垣に沿ひ、長さ約四米幅約二米、高さ約三米の土砂混りの残雪の空洞となりたるもの有り。喉の渇きに雪水をとらんとして数名の児童は此の中に入りたり。これを見たる久保田訓導は「あ、危い。」と叫びつつ駆け寄り自身も空洞内に入り、児童を連れ出さんとする刹那、俄然雪は崩れ、その下敷となる。

時に午後一時半頃か。この事を知りたる同僚職員は急遽駆けつけ救助に努むると共に無難児童を收容引率帰校の途につかしむ。又これと同時に付近村人の応援を求め約四、五十分間位の中に全部掘り出したるも、内児童二名は人工呼吸の甲斐もなく即死、久保田訓導は頭、顔面、其の他に重傷を蒙り出血甚だしく、瀕死の間にあるも意識は明瞭にして、口は利けず、自らの指にて自己の掌に、

「ケガニン 何人」

「コドモ タスカッタカ」

等と書きつけ、又看護に当らんとすれば

「ムネ、アタマ大丈夫、コドモタノム」

と書き現し、児童の救助、看護を求むること切なるものあり。特に臨終に至る迄妻子のことは一言も発せず、只「コドモヲ 早く」其他児童愛にもえたる其の心情の麗しさは並居る者を泣かしめたり。

午後四時田澤村常山醫師、同五時水澤村三谷校醫、十日町登坂醫師来診百方手を盡したるも終にその甲斐なく、午後六時、三十七歳を一期としてその生涯を終いたり。

久保田訓導外児童二名の死体は、現状にて検死を受け、午後十時帰校せり。思はざりき楽しき遠足の帰りを骸として迎へんとは。

二、久保田訓導の校葬

殉職の報傳はるや敬慕、同情、感激の念は翕然として村内に漲る。水澤村長は久保田訓導並に二名の児童の霊に對し、校葬を以てこれを慰めんと欲し、八百円の追加予算を計上し、村會に諮り満場一致の賛同を得、六月三日本校に於て校葬を執行せり。

この日來會するもの、新潟縣知事代理官、郡小学校會長、郡教員會長、十日町中学校長、十日町警察署長代理、五ヶ村小学校長、其他村内関係者、尚弔辞弔電を寄せられしもの、新潟縣教育會長、新潟縣教員互助會長、新潟師範学校長、高田師範学校同窓會長、郡教育會長、他多数あり。実に三氏の冥福を祈るにふさわしき盛儀を営むを得たり。

※原文を生かしつつ旧字体は読み易さに配慮して一部変換